

はじめに

先日はご多忙の中、貴重なお時間をいただきありがとうございました。佐藤様の現在の収支状況や未来予測、資産・負債・保障、ならびに今後の長期にわたる夢や希望をお伺いし、大切なご家族の未来を守りたいとの「思い」を深く受け止めさせていただきました。

その上で、ファイナンシャル・プランナーとして、佐藤様の夢や希望の実現のために仕事をさせていただける喜びと責任の重さを実感しております。

佐藤様もすでにご認識のとおり、「100年に一度」といわれる金融危機は、株大暴落を経て世界同時不況に発展しようとしています。また、終身雇用・年功序列制の崩壊は、多くの派遣労働者を生み、企業の業績悪化のあおりを直撃した「派遣切り」や「大量リストラ」「内定取り消し」など毎日暗いニュースばかりを目にするようになりました。「少子高齢化」による年金制度の崩壊も危惧されています。

少し前までは、定年まで勤めていれば、公的年金と退職金で豊かな老後が約束されていました。住宅についても、不動産価格とインフレの上昇により住宅ローンの実質価値は減り、給与は上昇すると見込まれていましたから、長期のローンを組んでおけば、綿密な住宅資金計画を立てる必要はありませんでした。銀行にお金を預けるにしても、金融機関による差はほとんどなく、金融機関を選別する必要も特にはありませんでしたが、今や銀行も潰れる時代となってしまいました。

これら社会・経済環境の急激な変化を受けて、ご自身の人生、特に老後の生活設計に関しては、ますます「自己責任の時代」となってきました。

このような厳しい環境下における佐藤様のご心配・ご懸念を解消するために、佐藤様のご家族のプロフィールと資産状況などから現状の問題点を分析し、佐藤様のご家族への思い、将来の夢の実現に向けて、安心できるライフプランのご提案書を作成させていただきました。

ご提案させていただきましたプランにつきまして、ご希望・ご不明な点がありましたらお聞かせください。より良いご提案ができるようさらに努力いたします。

平成21年2月11日

プラン作成担当者: 岡部 朱美

目次

はじめに	
目次	1
1. 佐藤様ご一家のプロフィール	2
2. プラン作成にあたっての佐藤一郎様のご希望・考え方	8
3. 佐藤家のライフイベント表	9
4. 現状で推移した場合(対策前)のキャッシュフロー表	10
5. キャッシュフロー表の問題点	14
6. 問題点に対する解決策	15
7. 解決策導入後(対策後)のキャッシュフロー表	25
8. 解決策を導入することにより得られる効果	29
おわりに	32

1. 佐藤様ご一家のプロフィール

1) 家族構成(平成 20(2008)年4月 10 日現在)

佐藤 一郎様 (昭和36(1961)年12月12日生まれ) 46歳 会社員(TH社勤務)

彩子様 (昭和38(1963)年12月15日生まれ) 44歳 パートタイマー

雄太様 (昭和62(1987)年7月8日生まれ) 20歳 大学3年生

和美様 (平成4(1992)年8月27日生まれ) 15歳 高校1年生

2) 佐藤家の主な収入と支出

① 収入(2007 年分実績値)

・一郎様

給与収入(額面金額) 880 万円/年

※55 歳までは年1%の割合で昇給、56～ 60 歳までは昇給はなくそのまま推移するものとして
ています。

※給与は年俸制で、給与月額は年俸の 16 分の1、6月と12 月に年俸の 16 分の2の金額
が賞与として支給されることを前提に社会保険料などを予測しています。

※社会保険料は、原則として 2008 年4月1日時点の保険料率を用いて計算しています。

※60 歳の誕生日を退職日としています。

※キャッシュフロー表の「一郎様の給与手取額」欄は、給与収入(額面金額)から所得税・住
民税、社会保険料を控除した手取額である「可処分所得」で表示しています。

・彩子様

パート収入(額面金額) 100 万円/年

※収入は変化しないものとし、和美様が大学を卒業する 2015 年まで働くことを前提としています
(その後は働かないものとしています)。

②支出(2007年分実績値)

項目	年額	変動率	備考
基本生活費	324万円	1%	雄太様・和美様が大学を卒業する年にそれぞれ10%、一郎様が退職する翌年に10%、減少するものとしています。
余暇生活費	84万円	1%	一郎様が退職する翌年に50%減額し、別途、退職後の旅行費用を計上します。
住宅ローン返済	148万円		詳細は、後述の「5)負債状況」に記載しています。
生命保険料	100万円		詳細は、後述の「6)保障状況」に記載しています。
損害保険料	14万円		同上
教育費		3%	キャッシュフロー表を参照ください。

※基本生活費および余暇生活費については、将来のキャッシュフローでは、物価変動率1%を考慮しています。

※教育費については、一郎様よりお伺いした進学予定を前提に、現在の教育費などから以下の予測額(年額)に物価変動率3%を乗じた数値を計上しています。

○雄太様(私立 WS 大学在学中):自宅から通学

○和美様(私立 OJ 高校在学中):私立大学・文系への進学を希望(自宅から通学)

	高校入学年	高校在学中	大学入学年	大学在学中
和也様	—	—	—	100万円
麻衣様	140万円	110万円	160万円	100万円

3)佐藤家のその他の収入および支出

①収入

・一郎様の退職一時金(額面)2,500万円(税引前)

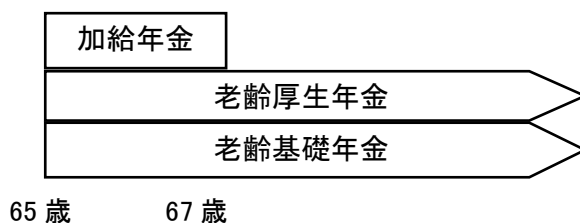
※60歳退職時までHT社で勤務した場合に退職時に支給される金額は2,500万円とこのことですが、キャッシュフロー表には税引後の手取額である2,468万円を2021年の収入の「その他」欄に計上しています。

※HT社の定年年齢は60歳ですが、再雇用を希望すれば65歳まで勤務できる制度が設けられています。

※HT社には企業年金制度などはなく、一郎様が退職時以降に受給される退職給付は退職一時金のみを計上しています。

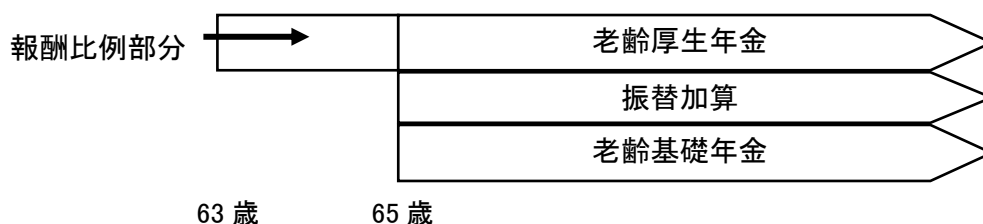
※現時点での業務外死亡の場合の死亡退職金見込額(額面)は、2,000万円としています。

・一郎様の公的年金(2008年度価額)



受給開始年齢	(キャッシュフロー表上の)受給開始年	年額 (2007年度価額)	内訳
65歳	2027年	2,659,800円	老齢厚生年金 1,517,900円 + 加給年金 396,000円 + 老齢基礎年金 745,900円
67歳(彩子様が65歳に達したときから)	2029年	2,263,800円	老齢厚生年金 1,517,900円 + 老齢基礎年金 745,900円

・彩子様の公的年金(2008年度価額)



受給開始年齢	(キャッシュフロー表上の)受給開始年	年額 (2007年度価額)	内訳
63歳	2027年	20,500円	(報酬比例部分相当額)
65歳	2029年	821,300円	老齢厚生年金 20,500円 + 老齢基礎年金 785,500円 + 振替加算 15,300円

※上記の金額は、一郎様よりお伺いした年金加入歴などをもとに、2008年4月1日現在の制度で計算した予測額であり、実際の年金額とは異なることがあります。

※一郎様の厚生年金加入期間および国民年金加入期間は37年8月、彩子様の厚生年金加入期間は1年6月、国民年金加入期間は39年8月として計算しています。

※公的年金は物価変動などに応じて毎年度の年金額が改定されますが、平成16年公的年金改正により、今後は給付水準が低下することになっています。これを受けて将来のキャッシュフローにおいては、年金の変動率は0%(上昇しない)と仮定しています。

②支出

項目	金額	変動率	備考
車輛買換え費用	200 万円	1%	車輛の買換えは5年に1度、買換え費用には税金・諸費用を含むものとしています。
結婚資金援助	150 万円	—	雄太様・和美様がそれぞれ 30 歳時に計上し、物価変動は考慮していません。
退職後の年1～2回の旅行費用	50 万円	—	物価変動は考慮していません。

※車輛買換え費用は、将来のキャッシュフローでは、物価変動率1%を考慮しています。

※2007年に200万円で自動車を購入しています。

なお、自宅マンションの固定資産税や管理費・修繕積立金、車検費用、退職後に発生する税金・社会保険料などは、基本生活費から捻出するものとしています。

4) 資産状況

①金融資産

2007年12月末現在

商品名	取得価額	現在価値	備考
普通預金	—	850 万円	TM銀行
貯蓄預金	—	700 万円	TM銀行
定期預金	—	200 万円	CH銀行
米ドル定期預金	250 万円	230 万円	CH銀行、購入時は1\$=125円、現在価値は1\$=105円で計算(利息分含む)
TK株式	180 万円	200 万円	食品メーカーの株式
PJ日経 225 オープン	200 万円	200 万円	日経平均株価の値動きに連動するように設定されている株式投資信託

※普通預金、貯蓄預金および定期預金の合計残高は、キャッシュフロー表の「貯蓄残高」に表示しています。また、「貯蓄残高」の運用利回りは、年1%(税引後、物価変動率と同率)としています。

※米ドル定期預金、TK株式およびPJ日経 225 オープンの現在価値の合計残高は、キャッシュフロー表の「投資性金融商品残高」に表示しています。また、将来の「投資性金融商品残高」の運用利回りは、年0%としています。

② 自宅

・マンション(時価) 2,600 万円 (取得価格は 4,500 万円)

5) 負債状況

① 住宅ローン

- ・債務者 : 一郎様
- ・借入先 : TM銀行
- ・借入金額 : 3,100 万円
- ・返済開始月 : 2003 年1月
- ・返済期間 : 30 年
- ・最終返済月 : 2032 年12 月
- ・返済方法 : 元利均等返済、月払のみ
- ・金利 : 2.55%(10 年固定金利選択型)
- ・毎月返済額 : 123,295 円(年間返済額: 1,479,540 円)

※35 ページの住宅ローンの償還表をご参考ください。

※将来のキャッシュフローでは、金利変動は考慮していません。

※団体信用生命保険が付保されており、保険料は金利に含まれています。

※現在の住宅ローンは、1994 年に借り入れた住宅金融公庫の住宅ローンから5年前に借り換えたものであり、現在は住宅ローン控除の適用は終了しています。

6) 保障状況

① 一郎様が被保険者である生命保険

- ・定期保険特約付終身保険(全期型)、40 歳時加入

契約者・被保険者: 一郎様

死亡保険金受取人: 彩子様

	保険金額	毎月保険料	備考
終身保険	300 万円	7,470 円	
定期保険特約	6,700 万円	43,550 円	65 歳まで
入院保障特約	日額 10,000 円	4,120 円	65 歳まで、5日目から支給
合計		55,140 円	月払(口座振替)、65 歳払込満了

※保険料の支払は、一郎様が 65 歳になるまで。

②彩子様が被保険者である生命保険

・定期保険特約付終身保険(全期型)、38歳時加入

契約者 : 一郎様

被保険者 : 彩子様

死亡保険金受取人 : 一郎様

	保険金額	毎月保険料	備考
終身保険	300万円	6,630円	
定期保険特約	3,700万円	17,390円	65歳まで
入院保障特約	日額 8,000円	3,880円	65歳まで、5日目から支給
合計		27,900円	月払(口座振替)、65歳払込満了

※保険料の支払は、彩子様が65歳になるまで。

③契約している損害保険

保険種類	年間保険料	備考
自家用自動車総合保険	120,000円	20等級、全年齢担保
住宅総合保険	18,000円	

※一郎様、彩子様のいずれも、老後資金準備のための個人年金保険などには加入していない。

※雄太様、和美様のいずれも、保険には一切加入していない。

2. プラン作成にあたっての佐藤一郎様のご希望・考え方

1) 子どもの費用

- ①雄太様・和美様の教育費については全額手当てしたい。必要があれば教育ローンを利用しても構わない。
- ②雄太様・和美様のご結婚する際には、それぞれ150万円を援助したい(結婚時期は30歳時と想定する)。

2) 老後

- ①60歳で定年退職した後は、できれば再就職などはせずに、夫婦共通の趣味である旅行や山歩きをするなど、ゆとりのある生活を送りたい。
- ②60歳退職後も住宅ローンの返済が続くが、年金生活となっても返済を続けることは可能かどうか、あるいは何か対策があればアドバイスがほしい。ただし、住宅ローンの金利変動リスクはできることなら低減したいと考えている。
- ③子どもが独立する時期も近づいてきたので、老後資金準備を考えたい。老後資金準備についてアドバイスがほしい。

3) 保障

- ①自分に万一のことが起きても、遺された家族がその後の生活に困るようなことは避けたい。少なくとも雄太様・和美様が大学を卒業するまでの教育費と最低限の基本生活費、その後の彩子様最低限の基本生活費については、全額確保できるようにしておきたい。
- ②現在加入している生命保険が適切かどうか、アドバイスが欲しい。一郎様自身は現在の生命保険料の負担は重いと感じているが、必要な保障を確保するためであればやむを得ないと考えている。

4) 資産運用

- ①現在、金融資産の大部分を預金で運用しているが、年齢や家族構成、資産保有状況など、自分の置かれている状況から判断して適当なのか、アドバイスがほしい。
- ②仕事の関係で為替変動リスクは十分に認識しているが、収益性を考慮すれば外貨建て商品はポートフォリオに組み入れたほうがよいと考えている。
- ③株式については保有すべきかどうかよくわからないが、現在のような低金利下では、多少リスクのある商品であっても、ある程度の収益が期待できる商品のほうがよいと考えている。

3. 佐藤家のライフイベント表

佐藤様ご一家の主なライフイベントを一覧にしましたので、ご確認ください。

年	ご家族の年齢				各人のイベント				ご家族のイベント
	一郎様	彩子様	雄太様	和美様	一郎様	彩子様	雄太様	和美様	
2008	47	45	21	16		パート勤務		高校進学	
2009	48	46	22	17					
2010	49	47	23	18			就職		
2011	50	48	24	19				大学進学	
2012	51	49	25	20					車購入
2013	52	50	26	21					
2014	53	51	27	22					
2015	54	52	28	23				就職	
2016	55	53	29	24					
2017	56	54	30	25			結婚?		車購入
2018	57	55	31	26					
2019	58	56	32	27					
2020	59	57	33	28					
2021	60	58	34	29	退職				
2022	61	59	35	30		旅行など		結婚?	車購入
2023	62	60	36	31					
2024	63	61	37	32					
2025	64	62	38	33					
2026	65	63	39	34					
2027	66	64	40	35	公的年金	公的年金			車購入
2028	67	65	41	36					
2029	68	66	42	37					
2030	69	67	43	38					
2031	70	68	44	39					
2032	71	69	45	40					車購入・住宅ローン完済
2033	72	70	46	41					
2034	73	71	47	42					
2035	74	72	48	43					
2036	75	73	49	44					
2037	76	74	50	45					車購入
2038	77	75	51	46					
2039	78	76	52	47					
2040	79	77	53	48					

*ご家族の年齢は、年末時点での年齢で記載しています

4. 現状で推移した場合(対策前)のキャッシュフロー表

佐藤様の現在の収支状況や今後のライフプランを考慮してキャッシュフロー表を作成すると、以下の通りになります。

経過年数	変動率	実績値	0	1	2	3	4	5	6	7
西暦		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
一郎様		46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳
彩子様		44歳	45歳	46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳
雄太様		20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳
和美様		15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳
収入										
一郎様の給与手取額		696	710	715	701	706	708	714	719	706
彩子様の給与手取額	—	100	100	100	100	100	100	100	100	100
その他										
一郎様の老齢年金	0.0%									
彩子様の老齢年金	0.0%									
収入計		796	810	815	801	806	808	814	819	806
支出										
基本生活費	1.0%	324	327	331	300	303	306	310	313	284
余暇生活費	1.0%	84	85	86	87	87	88	89	90	91
退職後の旅行費用	—									
生命保険料	—	100	100	100	100	100	100	100	100	100
損害保険料	—	14	14	14	14	14	14	14	14	14
教育費	3.0%	230	247	223	120	180	116	119	123	
結婚資金援助										
住宅ローン返済	—	148	148	148	148	148	148	148	148	148
車輦関連費	1.0%	200					210			
支出計		1,100	921	902	769	832	982	780	788	637
年間収支		△ 304	△ 111	△ 87	32	△ 26	△ 174	34	31	169
貯蓄残高	1.0%	1,750	1,657	1,586	1,634	1,624	1,467	1,515	1,561	1,746
投資性金融商品残高	0.0%	630	630	630	630	630	630	630	630	630
金融資産合計残高		2,380	2,287	2,216	2,264	2,254	2,097	2,145	2,191	2,376
金融資産現在価値	1.0%		2,287	2,194	2,219	2,188	2,015	2,041	2,064	2,216
給与手取額の計算式										
西暦		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
一郎様の年齢		46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳
額面給与		880	889	898	907	916	925	934	943	953
給与所得控除		208	209	210	211	212	213	213	214	215
給与所得		672	680	688	696	704	713	721	729	738
基礎控除		38	38	38	38	38	38	38	38	38
配偶者控除		38	38	38	38	38	38	38	38	38
扶養控除		101	126	126	63	63	63	63	63	
社会保険料控除		113.5	114.6	116.5	118.3	120.2	126.8	128.8	130.8	133.0
生命保険料控除		5	5	5	5	5	5	5	5	5
地震保険料控除		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所得控除合計額		295	322	323	262	264	271	273	275	214
課税所得		377	359	365	434	440	442	448	454	524
所得税・住民税		70	65	67	87	89	90	92	93	114
可処分所得		696	710	715	701	706	708	714	719	706